

1 団体の概要

本校は志賀高原ユネスコエコパークエリア内に位置しています。学区には古くから開けた山ノ内温泉郷、スノーモンキーで知られる地獄谷野猿公苑等の多くの観光スポットがあり国の内外から観光客が訪れます。さらに果樹栽培も盛んで志賀高原りんごをはじめ信州を代表するおいしい果物の産地でもあります。

四季の変化に富む優美な自然を持つ志賀高原には、近年、環境学習のため全国からユネスコスクールを含む多くの学校が訪れています。本校も6年生になると志賀高原の環境学習プログラムを受講し志賀高原の歩んできた姿から人と自然の共存について学んでいます。

2 ESD活動の概要

- ① 生活科や総合的な学習の時間を使っての発表活動や他の学校・地域との交流活動。
 - ・ 保育園児とのふれあい交流 (1年生) ・ 町内4校 志賀高原登山・交流 (5年生)
 - ・ 町内行事でのコカリナの演奏 (5.6年生)
- ② 志賀高原ユネスコエコパークプロジェクト「ABMORIーいのちを守る森づくりー」や志賀高原の蓮池外来種駆除活動等の環境保護活動等。
 - ・ ABMORIプロジェクト どんぐりの苗づくり活動 (1.2年生)
 - ・ 苗の山採り、育苗活動 (3.4年生) ・ 市川海老蔵さんと植樹活動 (5.6年生)
 - ・ リンゴ栽培学習 (3年生) ・ 大豆の栽培と味噌づくり (2年生)
- ③ 学年に応じた志賀高原ユネスコエコパークエリアでの野外活動。
 - ・ 全校遠足 (志賀高原学習) ・ 地獄谷野猿公苑 (1年生)、
 - ・ 志賀高原各エリア (2~6年生)
- ④ ①から③を様々な学習場面に生かす活動。

3 ESD活動のポイント

- ① 発表活動や他の学校・地域との交流活動を通して自らの思いを伝えたり新たなことを学びとったりしながら、自らの生き方や新しい価値に気づく。
- ② 志賀高原ユネスコエコパークプロジェクト「ABMORIーいのちを守る森づくりー」や志賀高原の蓮池外来種駆除活動等の環境保護活動へ参加したり、りんご・そば・大豆等の地域の特色ある農産物の栽培、収穫を地域の方と共に行ったりすることを通して、先人に対する感謝やふるさとを大事に思い、受け継いでいこうという気持ちを育てる。
- ③ 学年に応じた環境保全活動や特色ある産業について進んで調べ、志賀高原ユネスコエコパークエリアにある山ノ内町の特色を知り、どのように行動すればよいか考え、課題を解決する力をつける。

4 ESD活動の成果

志賀高原ユネスコエコパークプロジェクト「ABMORIーいのちを守る森づくりー」に参加し、人が開発し放置してしまっただ志賀高原のスキー場跡地の再生に各学年で取り組みました。以下のように1年生~6年生が学校で育てた苗を6年後に志賀高原で植樹するまでの育苗サイクルを確立しています。

また、それぞれの学年で地域の自然とかかわりを持ちながら学習を進めています。

< どんぐりの苗づくり活動 (1.2年生) >

・志賀高原で生まれたどんぐりを植えて5.6年後に志賀高原に育った苗を植えるための準備をしました。

はじめに、ひろったどんぐりを使っていろいろな遊びを経験しました。どんぐりに穴をあけてコマを作ったり、ペンで塗ってトトロを作ったりしながらどんぐりとたくさんふれあう中で愛着がわいたようでした。これからどんぐりを植えていく活動を行う予定です。



< 苗の山採り、育苗活動 (3.4年生) >

・スキー場跡地で芽を出し育ち始めた苗を育苗畑に移植する作業に取り組みました。土のついた苗を掘り運ぶ作業は重労働でしたが仲間と協力しやり遂げた喜びを味わうことができました。町関係部局、志賀高原の地域の皆さんとともに取り組む中で地域の志賀高原の自然を守っていくことの大切さを感じることができました。



< スキー場跡地で植樹活動 (5.6年生) >

・昨年度に引き続き、町主催の植樹活動に参加しました。長野オリンピック開催時に伐採された志賀高原の樹木から生まれたコカリナを全国から来られた参加者の前で演奏することができました。その音色は志賀の山々に美しく響きました。植樹作業は昨年度の体験をもとにグループで役割を分担し、効率よく取り組みました。一緒にグループで活動した県知事さんや町長さん、市川海老蔵さんにもがんばる子どもたちを認めて頂き、とてもうれしく思いました。子どもたちからは「この志賀高原の自然をずっと守っていきたい。」という感想も聞かれました。



< 志賀高原の蓮池で外来種駆除活動 >

・6年生が志賀高原の蓮池で、外来種の駆除活動に地域の皆さんとともに参加しました。本校の6年生はこの活動の中でエコパークを理解し志賀高原の現状と課題から今後の取組に目を向ける学習につながっています。伐採した樹木を運ぶ作業は大変ですが自分たちの取組が自然を守ることに繋がると考え積極的に活動することができました。



< リンゴ栽培活動 >



・3年生が果樹農家でリンゴ栽培を体験しました。摘花から収穫までの工夫や苦労した点をお聞きし実際に体験することを通して、生産者の思いに触れ、その生き方を学ぶことができました。また、そこで感じた事や学んだことがらについて、保護者のみなさんの前で発表しました。

< 音楽会での発表 >

・4学年では、環境について学んだ事や考えたことを音楽劇として発表しました。使い捨てる事が当たり前になっている人間につけ込んでくる魔物に対して、地球を大切にすることで対抗していくストーリーを演じる中で、これからも環境を大切にしたいという感想をもつことができました。

< 学習発表会での発表 >

・3学年では、ABMORIの育苗作業を通して感じた事を、学習発表会で保護者の皆さんに見ていただきました。活動を経ての子ども達の感想には、「コメツガの木が200年すると立派になるので、それを見てみたい。」「森を作る作業ができてよかった。4年生の作業も楽しみ。」「この木が大きくなるころにはぼくはいないかも知れないけれど、りっぱに育ててほしい。」などの感想を発表しました。



< カナダの学校との交流 >

・湯田中温泉に旅行に来ていたカナダの先生と知り合いになった学級が、メールを通して写真を送ったり質問をしたりする活動を行っています。

5 今後の課題

・子ども達は活動ごとに自然を守ることについて考えを深めようとしています。今後はその活動がそれぞれどう関わり合っているのか、また自分たちの生活とどの部分で関連づいているのかなど、まず職員が視点を明確にしながら活動の意味をさらに考えられるようにする必要があると考えます。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）